

山ぼうしは「立志の樹」といわれ、正門脇の「やまぼうし小庭園」には、

『花も実も 蒼天に立つ 山ぼうし』

の碑（初代PTA会長 盛合聡の揮毫）がある。



山ぼうし - 友愛・協調・責任 -

2014年8月18日 NO.5-3/3(夏休み特集)

岩手県立宮古工業高等学校 校報(発行者 校長)

宮古工業高等学校機械科 課題研究「津波模型班」

☆特集(2013~2014)☆

1 平成25年防災功労者内閣総理大臣表彰

防災功労者内閣総理大臣表彰は、『「防災の日」及び「防災週間」について』（昭和57年5月11日閣議了解）に基づき、災害時における人命救助や被害の拡大防止等の防災活動の実施、平時における防災思想の普及又は防災体制の整備の面で貢献し、特にその功績が顕著であると認められる団体又は個人を対象として表彰するものである。

「平成25年防災功労者内閣総理大臣表彰式」は、25年9月2日総理大臣官邸で行われ、本校から校長と山野目弘・実習教諭が出席した。

◆ 功績概要 団体 【防災思想の普及】

同団体は、平成17年度から風化されつつあった地域の津波防災意識の高揚を目的に、機械科の課題研究のテーマに掲げ津波模型班として活動を開始した。それぞれの地区に応じて製作した模型を持参し、津波防災意識を高めるため実演会を実施しており、今まで行った実演会の回数は（平成25年6月末現在）85回*を超えている。この活動を継続してきたことで、実演会に参加された方々から東日本大震災時の津波襲来の対応に生かされたという意見も多く寄せられた。とりわけ、震災前に実演会を行った小・中学校23校では、東日本大震災時に登校していた児童生徒は全員無事であるなど、地域住民への津波防災思想の普及に多大な貢献をした。【平成25年8月30日 内閣府（防災担当）【記者発表資料 功績概要】より】



【図1】表彰状



【図2】表彰記念盾



【図3】総理大臣官邸



【図4】表彰式会場

2 平成25年度「ぼうさい甲子園」優秀賞受賞

優れた防災教育や活動に取り組む学校や団体を顕彰する平成25年度の「ぼうさい甲子園」（毎日新聞社など主催）で、本校「津波模型班」が優秀賞を受賞した。（表彰式：兵庫県公館大会議室 H26/1/12）

本校「津波模型班」は、ぼうさい甲子園で、過去にぼうさい大賞2回受賞している。津波模型の製作と、それを使った「疑似津波実演会」の二つを活動の柱に据える。津波模型づくりは2005年度から取り組み、北は宮古市田老地区から南は山田町まで、計10基の模型を作り、学区全域を網羅した。平成25年度は、釜石市と大槌町を対象にした模型1基の作成に取り組み、26年度中ごろの完成を目指す。顧問の山野目弘・実習教諭は、「今後は、



ハザードマップを作ることの重要性を高校生が小学生に伝えていく啓発活動を新たにしたい」と話している。

【図5】ぼうさい甲子園 受賞歴

3 平成25年度全国工業高等学校長協会表彰

本校津波模型班は、公益社団法人全国工業高等学校長協会（以下「全工協」という）より、工業教育の充実、振興等について、特に実績が顕著であったことが認められ表彰されました。（H26/2/15）



【図6】平成25年度全国工業高等学校長協会表彰状

4 平成25年度「朝日のびのび教育賞」受賞

朝日のびのび教育賞は、多様な教育活動に光をあてることをめざし、1999年に創設されました。授与式は平成26年2月28日本校体育館で行われました。



【図7】「朝日のびのび教育賞」受賞(158団体中5団体受賞)

※平成26年8月18日現在で実演回数は105回



平成 26 年度津波模型班 「関西・四国実演会」

☆2014/7/23～7/31(8泊9日)☆

1 関西(大阪府・兵庫県)・四国(徳島県)日程

一行は、8泊9日の予定で、①大阪電気通信大学(大阪府寝屋川市)、②徳島県立防災センター(徳島県板野郡北島町)、③阿南市科学センター(徳島県阿南市)、④人と防災未来センター(兵庫県神戸市)を訪れ、津波模型での実演会を実施するとともに、小学生、中学性、高校生、大学生そして一般の方々と交流を深め、震災体験を伝えました。なお、日程の詳細や活動の様子等は下記の通りです。

月日	曜	行 程	模型	宿泊	
1	7/23	水	19:05 22:30 宮古 → 盛岡 → 106バス ドリーム号	宮古① ↓ 徳島	車中泊
2	7/24	木	5:55 6:16 8:43 9:40 15:00 18:00 東京 → 大阪 → ①大阪電気通信大学 寝屋川キャンパス → 徳島 のぞみ13 実演11:30～14:30	大阪② ↓ 徳島	A
3	7/25	金	8:00 8:30 15:00 18:00 徳島 → ②徳島県立防災センター → 阿南 10:30～研I 11:15～研修II 12:40～研修III 14:40～研修IV	徳島③ ↓ 阿南	B
4	7/26	土	8:00 8:30 15:00 19:00 阿南 → ③阿南市科学センター(サマーサイエンススクール) → 神戸 実演10:00～11:00～11:30 14:20～14:50	阿南④ ↓ 神戸	C
5	7/27	日	8:00 8:30 15:00 18:00 神戸 → ④人と防災未来センター → 神戸 実演10:00～	神戸⑤ ↓ 神戸	C
6	7/28	月	休 養 日		神戸 C
7	7/29	火	8:00 8:30 15:00 18:00 神戸 → ⑤人と防災未来センター → 神戸 実演10:00～		神戸 C
8	7/30	水	8:00 8:30 15:00 18:00 神戸 → ⑥人と防災未来センター → 神戸 実演10:00～	神戸⑥ ↓ 宮古	神戸 C
9	7/31	木	12:06 14:53 15:36 17:37 17:45 20:00 神戸 → 東京 → 盛岡 → 宮古 のぞみ126 はやぶさ25 106バス		宮古

※7/29～30 舞子高校との交流



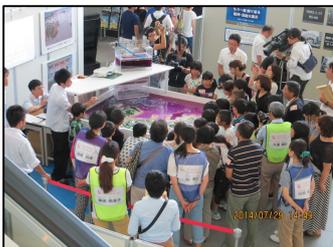
【図8】大阪電気通信大学
[地震及び津波発生仕組み]



【図9】徳島県立防災センター
[岩手の生徒と防災を考える]



【図10】阿南市科学センター
[サマーサイエンススクール]



【図11】人と防災未来センター
[浸水シミュレーションを防災に役立てる]

2 関西・四国実演会実施の趣旨

東日本大震災から3年5ヶ月が過ぎようとしています。この間、地域の皆様はもとより全国からの心温まるご支援に励まされ、宮古工業高校は復旧・復興に向け着実にその歩みを進めてきました。また、本校津波模型班は、東日本大震災が発生する6年前の平成17年から活動を始め、今年(平成26年)で記念すべき10周年を迎えました。この間の活動で教えられたことは、「災害を忘れず、教訓にして備えること」、そして「防災教育・啓発とは、自らの命は自ら守り、地域は自分たちで守る自助と共助の意識を高め行動できるようにすること」です。震災の教訓を風化させず後世に残し、少しでも被害軽減に生かしてもらうため、津波被災校(死傷者0)でもある本校は、引き続き防災思想の普及をめざし活動を継続して参ります。

3 実演会関係者及び参加者等の感想

(1) 徳島県教委・参加者等の感想

【徳島県立防災センター課長補佐 稲井 悦子 氏】

昨日(7/25)は、宮古工業高等学校の皆さんと徳島の中高生との交流ができてとても良かったです。宮古工業高等学校の皆さんの津波模型の素晴らしい発表に、みんな感心していました。高校生同士の交流では、体験談を次々と話してくださいました。徳島の高校生にとって本当にいい勉強になりました。お互いの活動に刺激を受け、共に場所は違えども頑張っていこうという気持ちを強くしたようです。本当にありがとうございました。若い人のパワーは素晴らしいです。改めて感動しました。

【徳島県教育委員会体育学校安全課 蔭岡弘知 氏】

未曾有の災害を体験した宮古工業の生徒さんと交流を深め(本県生徒に)災害に立ち向かう意識をもってもらいたい。

【徳島県立富岡東高校生(徳島県立防災センターにて)】

被災地の実情も聞いて心に響いた。より真剣に、南海トラフ巨大地震に備えたい。

【愛媛県四国中央市の会社員(人と防災未来センターにて)】

実際に見てみて、防潮堤の角やS字の部分は浸水しやすいと初めて知った。いざという時のために意識を高めておくことが大切だと感じました。

(2) 生徒の感想(津波模型班)

【津波模型四国遠征で感じたこと：3年機械科 武藤浩太君】

我々津波模型班は、大阪、徳島、神戸で津波模型の実演会を行ってきました。私は今回の旅で、班員全員が津波模型の説明やプレゼンのスキルをアップさせることができたと思っています。実演を行って気がついたことは、関西、四国では津波や地震に対する意識が高いということです。南海トラフ地震が予想されているだけのことはあって、防災に対する取り組みが岩手県とは大きく異なっていました。この遠征で、防災はみんなで取り組む必要があると感じ、このことを全国民に知ってほしいと思いました。今後は、東日本大震災の記憶を風化させないよう、後輩達には引き続き震災のことを伝えていってほしいと願っています。

【感慨無量：3年機械科 柴田一樹君】

私はこの九日間を体験し、自分たちが行っている活動をとても誇りに思いました。実演を見てくださる方々の目は真剣で、防災への意識の高さはどこへ行っても変わりませんでした。災害が予想される地域では、学校や街全体で防災活動に力を入れていて、どれも興味深いものでした。大阪府、徳島県、兵庫県のみなさん、ありがとうございました。

☆【報道】岩手日報(7/25) 朝日新聞(7/28) 徳島新聞(7/28) 神戸新聞(7/28) 毎日新聞(8/4) NHK(7/29) 岩手めんこいテレビ(8/14)等